

所属 人間情報学部		職名 教授	氏名 森 博子	学位 博士（工学）	兼担している研究科 文化創造研究科
研究分野 人間情報学、土木工学			研究分野のキーワード 交通工学、空間デザイン、情報デザイン		
学歴					
職歴					
研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
味以外のおいしさの科学～見た目・色・温度・重さ・イメージ・容器・パッケージ、食器、調理器具による感覚変化～	共著	2022年11月	S&T出版株式会社	森博子・加藤 みわ子	共同執筆につき本人担当部分抽出不可能
学術論文					
ACADEMIC EXPERTS	単著	2022年01月	特定非営利活動法人ITS Japan ITS Japan News Letter 61	森博子	13頁
公共テニスセンターのユニバーサルデザインマップの制作：名古屋市東山公園テニスセンターを例に	共著	2022年03月	愛知淑徳大学 愛知淑徳大学論集－人間情報学部篇－ 12	大村 遥香・森博子	1頁～15頁
映像のトランジション時における主観的な連続性に及ぼす影響の検討 - 映像文法における動きの一致手法と背景に着目して -	共著	2023年08月	日本人間工学会 人間工学 59 4	須藤信・森博子・横山清子	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
映像のトランジション時における主観的な連続性評価と視線の動きの関連	共著	2023年12月	日本人間工学会 人間工学 59 6	須藤信・森博子・親松和浩・横山清子	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
スポーツ後のクールダウンにおける量の生理的効果の検討	共著	2024年03月	愛知淑徳大学人間情報学部 愛知淑徳大学論集－人間情報学部篇－ 14	篠田真帆・森博子	1頁～10頁
人間情報学部15年間の歩み	共著	2025年03月	愛知淑徳大学人間情報学部 愛知淑徳大学論集 人間情報学部篇 15	森博子・天野成昭・高原美和・牧勝弘・三和義秀	7頁～13頁
視覚による心理的な影響と ITS 分野への適用に向けて	単著	2025年04月	電子情報通信学会 電子情報通信学会誌 108 4		345頁～349頁
山道における道路標識の色による視認性の検討	共著	2025年06月	土木学会 土木学会論文集 特集号（土木計画学）80 巻 20 号 論文ID: 24-20053	森 博子・園原 舜平	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
Psychological Impacts of Visual Perception and Their Application in ITS Field	単著	2025年07月	IEICE(The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers) Journal of IEICE 108 4		345頁～349頁
学会発表					
The Relaxing Effects of Lighting Within Automobiles Among Japanese Adults: A Cross-Sectional Study	共同発表	2021年12月	19th ITS Sympojium 2021(Nagaragawa Convention Center)		
他車両の存在がドライバーに及ぼす心理的・生理的影響の検討	共同発表	2024年03月	土木学会中部支部研究発表会(名古屋工業大学)		
山道における道路標識の色による視認性の検討	共同発表	2024年05月	土木計画学春大会(北海道大学)		
歩行者行動モデル開発にあたって	単独発表	2024年10月	ヒト・モビリティ・ソサエティに関わるシミュレーション技術の高度化コンソーシアム(東洋大学理工学部（埼玉県川越キャンパス）)		

他車両の存在によるストレスに関する実験	単独発表	2024年10月	ヒト・モビリティ・ソサエティに関わるシミュレーション技術の高度化コンソーシアム(東洋大学理工学部(埼玉県川越キャンパス))		
VR空間におけるユニバーサルなWebデザインの実現に向けた要件の検討	共同発表	2025年03月	第20回日本感性工学会春季大会予稿集, 3P01-02(京都工芸繊維大学)		
視認性研究におけるドライビングシミュレータ活用例	単独発表	2025年08月	ヒト・モビリティ・ソサエティに関わるシミュレーション技術の高度化コンソーシアム(香川大学)		
運転時の心理的生理的実験に関する研究事例	単独発表	2026年01月	ヒト・モビリティ・ソサエティに関わるシミュレーション技術の高度化コンソーシアム(愛知淑徳大学)		
VR空間におけるWebデザイン最適化に向けた奥行き間隔の基礎的検討 ―ユニバーサルなWebデザインの実現に向けて―	共同発表	2026年03月	第21回日本感性工学会春季大会予稿集, 3P01-15(宇都宮大学陽東キャンパス)		
作品・制作等					
入退室管理システム	単独	2021年04月		森博子	
その他業績					
愛知淑徳大学研究助成「研究課題 映像視聴におけるショットサイズがトランジション時の連続性に及ぼす影響の検討」	共同	2021年04月	愛知淑徳大学	森博子・須藤信	研究代表
愛知淑徳大学研究助成「研究課題 映像視聴におけるショットサイズがトランジション時の連続性に及ぼす影響の検討」	共同	2022年04月	愛知淑徳大学	森博子・親松和浩	研究代表
【報道発表】朝日新聞「コーヒーで生活困窮者支援」	共同	2022年09月	朝日新聞 愛知版	-	管理部門とCCC活動の一環として
自身の研究紹介とコンソーシアムについて考えること	単独	2023年01月	香川大学イノベーションデザイン研究所 マルチエージェント交通シミュレーションにおけるエージェント・モデル高度化 コンソーシアム設立に向けた第1回プレミーティング		個別発表
【報道発表】食品化学新聞「"おいしさ"を解剖する。第28回-音楽の聴取と味覚の感受性-」	共同	2024年04月	食品化学新聞, 第3021号	森博子・加藤みわ子, 山野善正解説	2024年4月25日
愛知淑徳大学研究助成「研究課題 複合現実空間におけるユニバーサルデザインを考慮した立体的Webデザインに関する研究」	共同	2024年04月	愛知淑徳大学	吉川 遼・佐藤 朝美・森 博子	研究代表
電子情報通信学会ITS研究会の開催	共同	2024年06月	電子情報通信学会ITS研究会	電子情報通信学会ITS研究専門委員会	会場提供・運営
学会等における主な活動					
受賞					
2002年	平成14年度情報処理学会高度交通システム研究会優秀研究論文賞「広域交通流シミュレータNETSTREAM」				
2003年	業績表彰, 「交通流予測と交通情報検証システム」				
2003年	主な研究成果(製品, 事業化に至った技術), 「交通流予測と交通情報検証システム」				
2005年	主な研究成果(製品, 事業化に至った技術), 「センター型交通状況予測・経路案内システムの開発」				
2006年	平成18年度情報処理学会高度交通システム研究会優秀研究論文賞「交通流シミュレータを用いた大規模イベント開催時の交通状況予測」				

2006年	主な研究成果（グループ各社の技術開発を先導する独創性と有用性を兼ね備えた研究成果 ），「予防安全システム効果評価のためのシミュレーション技術」	
2007年	平成19年度情報処理学会高度交通システム研究会優秀研究論文賞「予防安全システム評価シミュレータSTREET」	
2008年	平成20年度情報処理学会高度交通システム研究会優秀研究論文賞「予防安全システム効果評価のための歩行者行動のモデル化」	
2009年	平成21年度情報処理学会高度交通システム研究会優秀研究論文賞「交通流計算の高速化を目指したシミュレータTRIPSの開発」	
2010年	業績表彰，「予防安全システム効果評価のためのシミュレーション技術」	
2010年	主な研究成果（グループ各社の技術開発を先導する独創性と有用性を兼ね備えた研究成果 ），「予防安全システム効果評価のためのシミュレーション技術」	
2024年03月01日	土木学会中部支部研究発表会優秀講演賞（研究指導学生）	学部4年生のゼミ生 新井萌未さんが「他車両の存在がドライバーに及ぼす心理的・生理的影響の検討」と題して土木学会中部支部研究発表会で研究発表をおこない，優秀講演賞を受賞した。
所属学会		
1997年04月 ～ 現在	交通工学研究会	
2013年04月 ～ 現在	自動車技術会	2016年03月 ～ 2023年08月 休会
2014年04月 ～ 現在	愛知県ITS推進協議会	2014年04月 ～ 現在 特別会員
2015年03月 ～ 2019年04月	日本建築学会	
2019年04月 ～ 現在	電子情報通信学会	2019年04月 ～ 現在 ITS(Intelligent Transport Systems)研究専門委員会・専門委員
2022年04月 ～ 現在	日本感性工学会	
2023年12月 ～ 現在	土木学会	
社会活動		
2014年01月 ～ 現在	愛知県ITS推進協議会 特別会員	
2015年04月 ～ 現在	三重県港湾審議会 委員	
2016年10月 ～ 現在	愛知県自動車安全技術研究者	
2017年06月01日 ～ 現在	Editorial Board of International Journal of ITS(Intelligent Transport Systems) Research	
2018年04月02日 ～ 現在	Reviewer of Intelligent Transport Systems for Everyone's Mobility (Springer)	
2018年04月03日 ～ 現在	International Journal of ITS Research (IJIT) Regional Sub-committee	
2019年04月01日 ～ 2023年03月31日	堀川フラワーフェスティバル実行委員会委員	
2019年04月01日 ～ 2023年03月31日	長久手市大学連携推進協議会委員	
2019年04月01日 ～ 現在	電子情報通信学会 ITS(Intelligent Transport Systems)研究専門委員会・専門委員	
2021年10月01日 ～ 2022年01月31日	長久手市表彰審査委員	
2021年12月07日 ～ 2022年02月28日	名古屋市広報テレビ番組・ラジオ番組の制作及び放送業務委託事業者選定に係る企画コンペの評価委員	
2022年03月24日 ～ 2022年09月22日	Reviewer of 28th World Congress on Intelligent Transport Systems in Los Angeles	
2022年04月01日 ～ 2023年01月31日	第20回ITSシンポジウム2022 大会委員会 プログラム委員	
2022年05月01日 ～ 2022年07月31日	学生の社会貢献等活動支援業務に係る委託事業者評価委員	

2022年08月22日 ~ 2022年09月02日	【第24回日本感性工学会大会】優秀発表賞審査委員
2022年10月01日 ~ 2023年01月31日	長久手市表彰審査委員
2022年12月07日 ~ 2023年02月28日	名古屋市広報テレビ番組・ラジオ番組の制作及び放送業務委託事業者選定に係る企画コンペの評価委員
2023年04月17日 ~ 2023年10月20日	Reviewer of 29th World Congress on Intelligent Transport Systems in 蘇州
2024年01月13日 ~ 2024年09月16日	Reviewer of 30th World Congress on Intelligent Transport Systems in Dubai
2024年04月 ~ 現在	ヒト・モビリティ・ソサエティに関わるシミュレーション技術の高度化コンソーシアム 構成員
2024年06月14日	電子情報通信学会ITS研究会開催（開催校）
2025年01月10日 ~ 2025年08月24日	Reviewer of 31st World Congress on Intelligent Transport Systems in Atlanta
2025年04月01日 ~ 2025年09月01日	Reviewer of Eastern Asia Society for Transportation Studies
2026年01月30日	ヒト・モビリティ・ソサエティに関わるシミュレーション技術の高度化コンソーシアム開催（開催校）

教育活動		
教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
学外活動による空間およびユニバーサルデザインの調査	2013年08月 ~ 現在	公共交通機関や観光施設等の快適・不快空間やユニバーサルデザインについて、学外での活動を通して学生自身が体験し現状を把握。レポートとしてまとめ、提出。
「ロボット製作演習」における作品発表会と評価	2013年09月 ~ 現在	グループで作成したオリジナル作品をPRとともに発表させ、学生同士でお互いの評価を行っている。他の作品を評価することによって、自分の作品を客観的に捉えることができ、また、教員も独自の判断ではなく、学生同士の評価を加味した成績評価としている。
「実験計測演習」における応用演習と発表会	2014年09月 ~ 2022年03月	計測機器の機能・基本的な計測手法を習得した後、グループ単位で機器を選定し応用実験・分析を行っている。各グループ独自に興味を持った内容で実験・分析することで機器操作や分析能力向上を計る。さらに、それらの発表会を行い、お互いの発表を評価し合うことで、機器の応用についての理解を深める。成績は教員の独自の判断ではなく、学生同士の評価結果も加味している。
「ユニバーサルデザイン論」における疑似体験	2014年09月 ~ 現在	高齢者、妊婦、色弱者、車椅子利用者等を機器を用いて疑似体験することによって、利用者の理解や配慮すべき事項の理解を深めるようにしている。
「ユニバーサルデザイン論」における商品調査	2014年09月 ~ 現在	「どんな利用者にとって、どんな点が不便で、どう改善したら良いか」を、身の回りのモノを調査し考察することを課題としている。
「ユニバーサルデザイン論」における都市環境調査	2014年09月 ~ 現在	公共交通等の自分に身近な環境を調査し、「どんな点が不便であるか。どう改善したら良いか」を考察することを課題としている。
人間情報学部 海外研修の内容企画と実施	2016年04月 ~ 現在	2017年度より人間情報学部にて開設する専門教育科目「海外フィールドスタディ」に向けて、学部で習得する知識（図書館情報、IT技術、デザイン制作、情報サービス等）が実際にどのように生かされているのかを把握するために海外のトップレベルの施設で研修できるように企画を行った。2017年度は、夏休みにフィンランドへ渡航し、世界的にトップレベルの施設・社会・サービス・環境を視察した。2018年度は、フィンランドに加え、コペンハーゲンで図書館およびデザインの研修を行った。
人間情報学部 海外研修の拡充	2018年04月 ~ 2026年09月	2017年度より人間情報学部の専門教育科目「海外フィールドスタディ」を2年間実施したところ、「翌年度も異なる内容であればぜひ参加したい」という要望があったため、「海外フィールドスタディ」および「海外フィールドスタディ」の2科目を開設。3年次以降の履修を2年次より履修可能とした。どちらも学部で習得する知識（図書館情報、IT技術、内容であるが、異なる特徴を持つ渡航先と施設とした。
「制御プログラミング演習」における作品発表会と評価	2018年04月 ~ 現在	グループで作成したオリジナル作品をPRとともに発表させ、学生同士でお互いの評価を行っている。他の作品を評価することによって、自分の作品を客観的に捉えることができ、また、教員も独自の判断ではなく、学生同士の評価を加味した成績評価としている。
「データ解析演習」の応用演習	2020年04月 ~ 2022年03月	多変量解析の基本的な手法を習得した後、独自に興味を持った内容でアンケートを作成する。他の受講生に回答してもらい、それらの回答を解析する。どういうデータを用い、どの手法を用いるかを、自ら考え解析し考察することにより、解析能力向上を計る。
「データアナリティクス」の応用演習	2022年04月 ~ 2024年03月	多変量解析の基本的な手法を習得した後、独自に興味を持った内容でアンケートを作成する。他の受講生に回答してもらい、それらの

		回答を解析する。どういうデータを用い、どの手法を用いるかを、自ら考え解析し考察することにより、解析能力向上を計る。
「データ解析演習」の応用演習	2024年04月～現在	多変量解析の基本的な手法を習得した後、独自に興味を持った内容でアンケートを作成する。他の受講生に回答してもらい、それらの回答を解析する。どういうデータを用い、どの手法を用いるかを、自ら考え解析し考察することにより、解析能力向上を計る。
人間情報学部 海外研修の充実	2025年07月～2026年09月	人間情報学部では、2017年度より専門教育科目「海外フィールドスタディ」を実施している。学部再編（データサイエンス専攻・感性工学専攻）に伴い研修内容の見直しを行い、IT・ICT技術、UXデザイン、情報サービス分野の内容を充実させた。その結果、学生は海外における先進的な技術やサービスに直接触れることで、専門性の深化に加え、グローバルな視点および課題解決力を養っている。
2 作成した教科書、教材、参考書		
初年次教育科目「基礎ゼミ」テキスト	2013年12月～2022年07月	初年次教育科目「基礎ゼミ」準備委員会メンバーで分担執筆した。主に第7回第8回を担当。
「実験計測演習」計測機器利用マニュアル	2014年09月～2022年03月	授業で用いる機器の目的、従来研究、操作方法、ソフトウェアの利用方法等をまとめた。
「制御プログラミング演習」テキスト	2018年04月～現在	演習で用いる機器の目的、組立方法、操作方法、ソフトウェアの利用方法等をまとめた。
「データ解析演習」のオンデマンド授業用テキスト	2020年04月01日～2022年03月	主に多変量解析を中心としたデータ解析の演習を、自宅で可能なように詳細に説明を加えた。
「ユニバーサルデザイン論」のオンデマンド授業用テキスト	2020年09月01日～2022年03月	ユニバーサルデザインの必要性、原則・指針と、高齢者や障がい者等の様々な人の特性について学んだ後、「現状ではどのようなユニバーサルデザインがあるのか」「どんな点がまだ課題であるか」を、事例を通して、道路、公園、施設、生活用品、機器等の多様な場面から学ぶ。それらを自宅でも学習できるよう、説明文や、写真等の事例を多く取り入れたテキストを作成した。
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
愛知淑徳大学オープンキャンパス特別企画「体験しよう！視線を誘導するデザイン」	2021年06月13日	人がどこをみているかによってデザインを評価できる手法について、視線計測の体験コーナーを設置。受験生にとその保護者に見学・体験してもらいながら、それらの説明を行った。
「【GLデザインコンテスト向け講習会】満足度評価ツールを作ろう」の講師	2021年08月19日	グローバルラウンジで用いる「満足度調査システム」のデザインコンテストの講習会を開催。システムの開発には、多くの学生になじみのあるエクセルでできるプログラミングを採用。独自のテキストを作成し、講習会を開催して、プログラミングをやったことがない学生でも参加できるようにした。
[特集] CCC SDGsに関する取り組みの取材対応	2022年08月02日	座談会形式にて、CCCの主にSDGsに関する取り組みについて取材を受けた。愛知淑徳大学後援会誌『楓信』93号に掲載された。
人が入れるVR空間「Cave」の取材対応	2023年04月	人間情報学部感性工学専攻新設にあたって導入した「Cave」について、利用目的や特長などについて取材に対応した。愛知淑徳大学活動情報サイト「AS LIVE!」に掲載された。
感性工学に活用 プロジェクションマッピング型VRシステム「CAVE」取材対応	2023年04月	人間情報学部感性工学専攻新設にあたって導入したプロジェクションマッピング型VRシステム「CAVE」について、利用目的や特長などについて取材に対応した。ソリッドレイ研究所のWebサイト事例紹介として掲載された。
[特集]「人間情報学部人間情報学科2専攻制スタート」の取材対応	2023年04月	座談会形式にて、学部の新体制、特に感性工学専攻について述べた。愛知淑徳大学後援会誌『楓信』94号および学園広報誌『愛知淑徳学園』vol.137に掲載された。
高校生向け「ロボット製作演習」見学会の対応	2023年07月12日	愛知淑徳高校生向けに「ロボット製作演習」の授業の見学会を実施。感性工学専攻の説明と本専攻における本授業の位置付けを説明し、授業概要を説明。受講生が実際に取り組んでいる演習を見学した。
"愛知淑徳大学が「感性工学」の研究・人材育成にパルコ製VRシステム「CAVE」を活用"の取材対応	2023年07月20日	人間情報学部感性工学専攻新設にあたって導入したVRシステム「CAVE」について、利用目的や特長などについて取材に対応した。パルコ株式会社のWebサイト事例紹介として日本語と英語で掲載された。
新型自動車シミュレータと自転車シミュレータの取材対応	2024年05月20日	新型自動車シミュレータと自転車シミュレータについて、利用目的、既存シミュレータとの違い、特長、研究例などについて取材に対応した。愛知淑徳大学活動情報サイト「AS LIVE!」に掲載された。
ゼミ生の学外研究発表の受賞の取材対応	2024年05月30日	2024年3月1日に森博子ゼミの4年生の学生 新井萌末さんが「他車両の存在がドライバーに及ぼす心理的・生理的影響の検討」と題して土木学会中部支部研究発表会で研究発表をおこない、優秀講演賞を受賞した。その内容について取材に対応した。愛知淑徳大学活動情報サイト「AS LIVE!」に掲載された。
ゼミ生の学外研究発表の受賞の広報対応	2024年05月31日	2024年3月1日に森博子ゼミの4年生の学生 新井萌末さんが「他車両の存在がドライバーに及ぼす心理的・生理的影響の検討」と題して土木学会中部支部研究発表会で研究発表をおこない、優秀講演賞を受賞した。その内容について、学園広報誌『愛知淑徳学園』vol.140に掲載された。
元ゼミ生の企業での活躍の広報対応	2024年07月25日	元ゼミ生で2016年度卒業生の四元秀さんが、日本IBMに転職したため、人間情報学部の学びと会社での活躍についての取材に推薦した。愛知淑徳大学活動情報サイト「AS LIVE!」に掲載された。

「あいちITSセミナー」講演会の開催と広報の対応	2026年05月29日	愛知県ITS推進協議会が主催する「愛知ITS大学セミナー」を、森ゼミ生を対象に開講した。本セミナーは、ITS（Intelligent Transport Systems：高度道路交通システム）に関する大学生の認知度向上と、次世代を担う人材育成を目的として実施されたものである。また、本取り組みの内容について取材対応を行い、愛知淑徳大学の活動情報サイト「AS LIVE!」に掲載された。
4 その他教育活動上特記すべき事項		
企業・メーカーの方による講演会・説明会・演習の実施	2014年03月～現在	年に数回不定期だが、企業・メーカーの方をお招きし、講演会・説明会を実施している。
人間情報学部 海外研修の企画と実施	2016年04月～現在	人間情報学部の専門教育科目「海外フィールドスタディ」に向けて、学部で習得する知識（図書館情報、IT技術、デザイン制作、情報サービス等）が実際にどのように生かされているのかを把握するために海外のトップレベルの施設を研修できるよう企画・実施した。その成果は、受験生向けの「大学案内」および「人間情報学部リーフレット」に「人間情報学部の魅力」として取り上げられている。また、愛知淑徳大学活動情報サイト「AS LIVE!」や学部・学科ホームページで毎年紹介されている。
人間情報学部 海外研修の拡充	2018年04月～現在	2017年度より人間情報学部の専門教育科目「海外フィールドスタディ」を2年間実施したところ、「翌年度も異なる内容であればぜひ参加したい」という要望があったため、「海外フィールドスタディ」および「海外フィールドスタディ」の2科目を開設。3年次以降の履修を2年次より履修可能とした。どちらも学部で習得する知識（図書館情報、IT技術、内容であるが、異なる特徴を持つ渡航先と施設とした。
グローバルラウンジで用いる「満足度調査システム」のデザインコンテストの監修	2020年12月～2021年12月	国際交流センター管轄のグローバルラウンジで用いる「満足度調査システム」のデザインコンテストを監修した。システムの開発には、多くの学生になじみのあるエクセルでできるプログラミングを採用。独自のテキストを作成し、講習会を開催して、プログラミングをやったことがない学生でも参加できるようにした。
5 大学運営		
初年次教育科目「基礎ゼミ」準備委員会委員	2013年12月～2022年05月	
フラダンス同好会OluOlu顧問	2015年04月～2023年06月	
人間情報学部 学部運営委員会委員	2016年04月～現在	
人間情報学部 教員資格審査委員会委員	2016年04月～現在	
人間情報学部 入試実施委員会委員	2016年04月～現在	
人間情報学部 研究助成委員会委員	2016年04月～現在	
FD及び自己点検・評価委員	2017年04月～2023年03月	
研究助成委員会委員	2017年04月～2023年03月	
大学協議会委員	2017年04月～2023年03月	
文化創造研究科 学生生活委員	2018年04月～現在	
コミュニティー・コラボレーションセンター（CCC）、センター長	2019年04月～2023年03月	
総合情報メディア・セキュリティ委員会委員	2019年04月～2023年03月	
アクティブラーニング編集委員会委員	2019年04月～2023年03月	
不正行為防止対策委員会委員	2019年04月～2023年03月	
人間情報学部 情報デザイン専修主任	2020年04月～2023年03月	

文化創造研究科 運営委員会委員	2022年04月 ~ 2023年03月	
文化創造研究科 教員資格審査委員会委員	2022年04月 ~ 2023年03月	
文化創造研究科 FD及び自己点検・評価実施委員会委員	2022年04月 ~ 2023年03月	
文化創造研究科 入学試験実施委員会委員	2022年04月 ~ 2023年03月	
人間情報学部 学部改組準備委員会委員	2022年04月 ~ 2023年03月	
文化創造研究科 情報デザイン・システム専修代表	2022年04月 ~ 2023年03月	
人間情報学部 感性工学専攻主任	2023年04月 ~ 2024年03月	
人間情報学部 学部長	2024年04月 ~ 2026年03月	
大学協議会委員	2024年04月 ~ 2026年03月	
総合企画委員会委員	2024年04月 ~ 2026年03月	
学部入学試験委員会委員	2024年04月 ~ 2026年03月	
研究助成委員会委員	2024年04月 ~ 2026年03月	
F D 及び自己点検・評価委員会委員	2024年04月 ~ 2026年03月	
個人情報保護委員会委員	2024年04月 ~ 2026年03月	
学資援助委員会委員	2024年04月 ~ 2026年03月	
不正行為防止対策委員会委員	2024年04月 ~ 2026年03月	
安全保障輸出管理委員会委員	2024年04月 ~ 2026年03月	
防災委員会	2024年04月 ~ 2026年03月	
人間情報学部 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定準備委員会委員	2024年04月 ~ 2026年03月	
人間情報学部「数学教職コース（仮）」設置準備委員会委員	2024年04月 ~ 2026年03月	
人間情報学部 学部Webページ・大学案内・学部パンフレット・DM担当	2024年04月 ~ 現在	
愛知淑徳大学50周年誌執筆（人間情報学部）	2024年06月 ~ 2025年06月	
開学50周年記念ロゴ審査委員	2024年08月 ~ 2024年10月	
学生表彰選考委員会委員	2025年04月 ~ 2026年03月	
人間情報学部 感性工学専攻主任	2026年04月 ~ 現在	
V 資格・免許、特許等		

資格・免許		
特許等		
2003年10月	特許第3485774号「交通流シミュレーションシステム」	
2008年06月	特許第4134842号「交通情報予測装置、交通情報予測方法及びプログラム」	
2008年11月	特許第4223968号「交通状況予測装置および方法」	
2008年12月	特許第4231527号「交通シミュレーション装置」	
2009年11月	特許第4412261号「交通シミュレーション装置、方法及びプログラム」	
2010年05月	特許第4506663号「交通状況予測装置、方法及びプログラム、経路探索システム並びに交通状況提供システム」	
2011年01月	特許第4670805号「運転支援装置、及びプログラム」	
2011年03月	特許第4691993号「衝突危険性判断装置及び方法、衝突危険性判断プログラム、衝突危険性報知装置及び方法、及び衝突危険性報知」	
2011年05月	特許第4735153号「交通流シミュレーション装置、方法及びプログラム」	
2011年10月	特許第4838153号「交通シミュレーション装置」	
2011年11月	特許第4853005号「車両走行シミュレーション装置」	
2011年11月	特許第4814816号「事故発生予測シミュレーション装置、方法及びプログラム並びに安全システム評価装置及び事故警報装置」	
2012年03月	特許第4935795号「歩行者飛び出し予測装置及びプログラム」	
2012年04月	特許第4980810号「交通シミュレーション装置及びプログラム」	
2012年04月	特許第4922132号「信号情報推定装置」	
2012年06月	特許第5021506号「交通流シミュレーションシステム及び方法」	
2013年03月	特許第5215078号「運転支援装置及びプログラム」	
2013年04月	特許第5249518号「情報処理装置及び運転行動模擬装置」	
2013年05月	特許第5273106号「交通流計算装置及びプログラム」	
2013年09月	特許第5374067号「交通状態シミュレーション装置及びプログラム」	
2013年12月	特許第5423500号「走行方法計算装置及びプログラム」	
2013年12月	特許第5424754号「リンク旅行時間算出装置及びプログラム」	
2014年05月	特許第5542284号「車両利用支援装置」	
2014年06月	特許第5562691号「渋滞時間算出装置、出発時間算出装置、渋滞なし時間算出装置、及びプログラム」	
2014年12月	特許第5668380号「経路探索装置及びプログラム」	
2015年03月	特許第5710545号「充電支援装置、充電支援システム」	
2015年03月	特許第5716336号「車群走行制御装置、プログラム、及び車群交通流制御システム」	
2015年05月	特許第5746098号「自然エネルギーを利用した発電システムの劣化診断層装置」	
2016年03月	特許第5897848号「充放電支援装置」	

2017年07月

特許第5967205号「オンデマンド車両運行管理装置、オンデマンド車両運行管理方法及びオンデマンド車両運行管理システム」